



イエメン治安・人道的支援状況

2018年9月

| | |
|---|---|
| 項 | 目次 |
| 1 | ノートと目次 |
| 2 | 軍事的・政治的変化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 国連和平交渉 ○ UAE-Led Offensive on al Hudaydah |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ○ Taiz 市における分裂 ○ イエメンリヤルの価格暴落 ○ 南部での抗議活動と暴動 ○ 前線 ○ サウジ連合の空爆 |
| 4 | OCHA イエメン人道的アクセススナップショット: 2018年8月~9月 |

用語集

| | |
|---------------------|--|
| Saudi-led coalition | サウジアラビア、エジプト、モロッコ、ヨルダン、スーダン、アラブ首長国連邦、エジプト、クウェートとバーレーンを含む |
| AQAP | アラビア半島のアルカイダ |
| GoY | イエメン政府 |
| STC | 南部移行協議会 |
| WFP | 世界食糧計画 |
| UAE | アラブ首長国連邦 |
| UN | 国際連合 |
| UNOCHA | 国連人道問題調整事務所 |

この文書はジャパン・プラットフォーム内およびその関係者のみの利用に限ります。この文書は、JPF セキュリティアドバイザーの同意なく、再配布することを禁じます。

本レポートの情報源として、以下の団体が提供するものを参照しています：

Al Monitor, Al Jazeera, Red Cross International, Relief Web, WHO, International Crisis Group and websites including, Institute for the Study of War, Chatham House, Human Rights Watch, Al Jazeera, Critical Threats, Risk Intelligence, Guardian, BBC, France 24

以下文書内で“コメント…”とイタリック体で記載され、後述の文章もイタリック体で記載されている場合、筆者の意見を述べており、事実ではないことがあります。

免責事項: この文書の目的は、情報と分析をし、アドバイスを提供することです。ジャパン・プラットフォームは、この文書に基づき、読者がいかなる行動や措置をとった場合でも、責任を負いかねますことご了承ください。

1. 軍事的・政治的变化

マップ参照元: RiskIntelligence <https://twitter.com/riskstaff>



国連和平への努力

国連特使の Martin Griffiths 氏は、2018 年 9 月 6 日、ジュネーブにて関係団体を集める和平交渉を調整した。しかしながら、フーシ代表団は以下の 3 つの重要な要求が実現されなかったとして、本和平交渉を欠席した。

- 負傷した反乱軍隊員のオマーンへの移手段の確保
- 既に治療を受けた隊員の本国送還
- フーシ代表団が Sanaa から Geneva まで帰還できる保証

Griffiths 氏は継続して両サイドが和平交渉につくように説得を続け、9 月 16 日には Sana'a に戻りフーシの指導者へ会いに行った。ジュネーブで新たな和平交渉を計画するため、Sana'a 空港を商業利用のため 10 月に再オープンさせ、捕虜の解放、そして公務員への給料支払いを含めて話し合った。コメント: 最近のインタビューで、Griffiths 氏は全関係者を集めた和平交渉に前向きであると語っている。

UAE 主導の AL HUDAYDAH への攻撃

9 月前半、Hudaydah 行政区域に対する集中的な攻撃が続き、2018 年 9 月 6 日の和平交渉の失敗を受け、その攻撃は再開され、更に激化した。UAE 主導の連合軍は大きく前進し、Hudaydah から Sana'a へ続く主要道路を塞いだ。9 月 18 日には、Hudaydah 市の東部を新たに領地として取得し、Hudaydah と Sana'a を繋ぐルート上にある 3 つの重要なジャンクションを占領した。しかしながら、UAE 主導の連合軍は南方郊外への進出はわずかにとどまった。報道によれば、紅海近くに存在した WFP 保管施設が 9 月 8 日に砲撃を受けた。この史跡には、4500 メートルトンの食糧が保管されており、一ヶ月・350 万人に食糧を提供できる分の食糧が保管されていた。同日、バスターミナルが空爆もしくは砲撃され、35 名の市民が殺害、負傷した。9 月 14 日、WPF は、自身の倉庫施設の一つが攻撃を受けたことを発表した。

コメント: 市民や、民間施設、医療施設や人道支援施設を標的にすることが、直近の紛争では最も一般的になっている。WFP が紛争中に両サイドに自身が保有する施設の場所を伝えている可能性が高い。上記にあるインシデントは標的にすることは非常に熟慮された上の戦略であるという視点を与える。



イエメンリヤル安

2018年、年間通じて、米国ドルに対してイエメンリヤルの価格が急激に下がっている。2018年1月、1ドルは380YRで取引されていたものが、9月2日時点で1ドルに対し620YRで取引されていた。戦争の影響でイエメン政府(GoY)は、通貨価格下落を阻止することは難しかった。イエメン政府は有効な金融政策を実施することができず、地元経済は破壊され、外貨収入が不足していたために、イエメンリヤルの増に繋げることができなかった。

イエメンは、食糧需要の80%を輸入に頼っており、UNOCHAによると「日常必需品は少なくとも10%価格が上昇していると報告している。多くのビジネスや流通業者が倒産、もしくは外国通貨のみで取引している。UNOCHAはさらに直近の通貨価値の下落は350万人のイエメン人が食糧へのアクセスが困難になると試算している。現在、食糧アクセス困難者は約840万人いるとされている。10月初め、1ドルが800YRで取引され、サウジアラビア政府は、更なるリヤル安の阻止と準備を築くためにイエメン中央銀行に2億ドルを投入した。

TAIZにおける分断

イエメン政府はTaiz市のほとんどを支配しているが、行政区域の殆どはフーシの管理下にある。しかしながら、市内では政府を支持する武装集団同士の小さな団結が見られる。複数の武装グループと通常軍隊は市内でフーシと戦っている。武装グループは相違する政治的な忠誠を持ち、イエメン政府軍と異なるコネクションと部隊である。このような権力構造が、影響力や収入、そして領土を巡って互いに戦わせる結果となっている。税収入とローカルビジネスに対するゆすりが主な収入源となっていた。最近では、al-Abbas brigade と Islah に関連部隊との激しい武力衝突が発生していた。しかしながら、Hadi 大統領によって治安対策が施され、Amin Mahmoud 知事は、戦闘の解決と更なる安全保障策の導入に成功していると言える。コメント:この策によって Taiz における人道的アクセスの改善が期待されている。なぜならこの地域は武装集団による脅迫的な行為により特に活動が難しい地域であったからだ。

南部での抗議活動と暴動

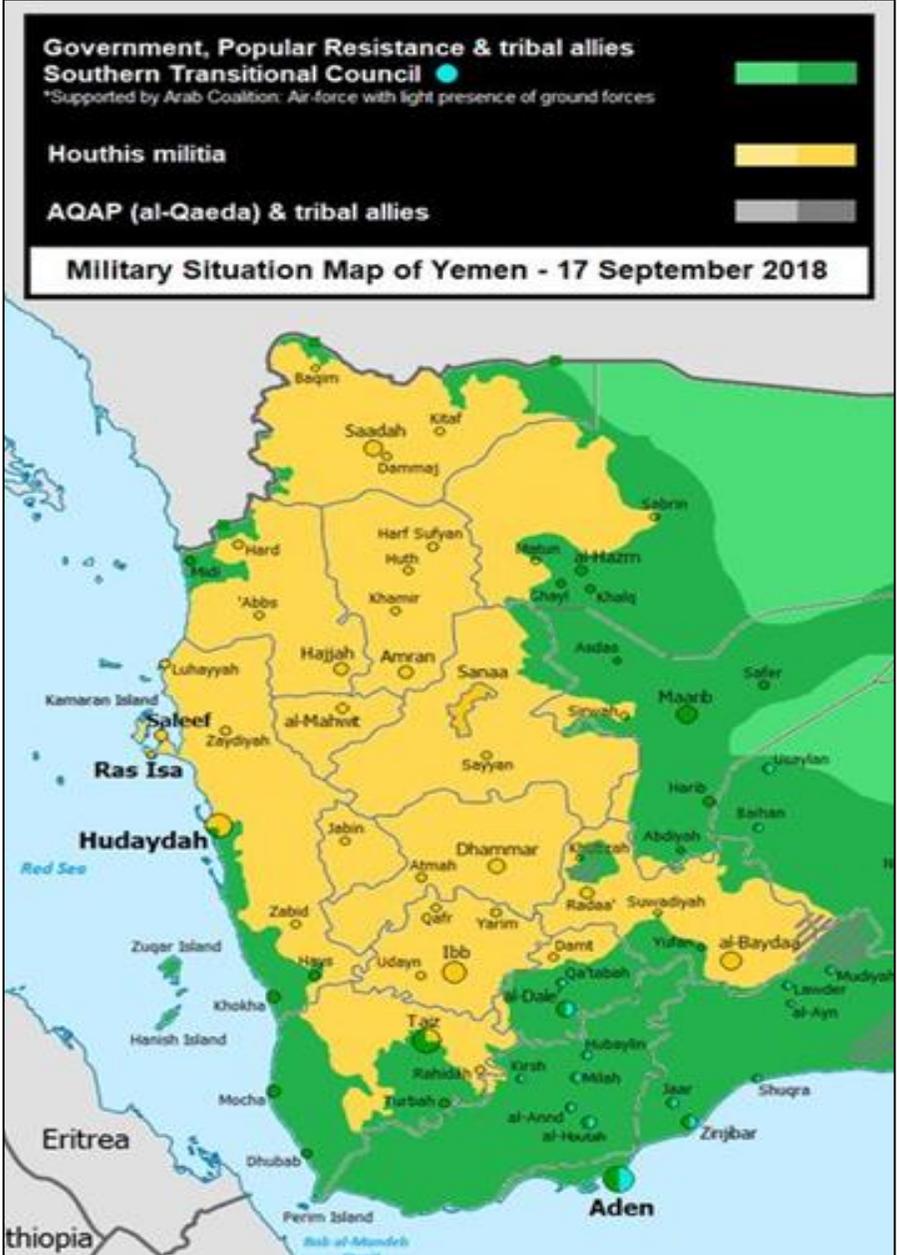
2018年9月、Adenで抗議活動が行われ、それは南方に位置する Lahaj や Abyan、A-Dhali' といった地域にも伝染した。市民の不安はイエメンリヤルの暴落と続く物価上昇、基本的な公的サービスの不足に対する不満によるものであった。

コメント:抗議活動は元々大衆の活動だと思われていたが、すぐに政治団体に利用され、分離独立派の南イエメン移行評議会が10月における抗議活動を続けて計画した。

前線:

Hudaydah における戦闘に加えて、回廊地帯と市内南部で UAE 主導の連合地上軍による戦闘は、以下の行政区域でも発生している:(2018年9月)

- al Bayda
- Lahaj
- Taiz
- Marib
- Hajjah
- Sa'dah
- al Jawf.



サウジ連合の空爆 2018年9月の最初の2週間、サウジ連合は、推定36の空爆を実施したとみられており、うち21発は市民の負傷者がでたと報じられている。コメント:高い確率で市民の犠牲者が出ていることに対する国際的に非難されているにもかかわらず、サウジの標的を選定するポリシーに変更は行われなかった。

2: OCHA イエメン人道的アクセススナップショット:2018年8月~9月

ANALYSIS

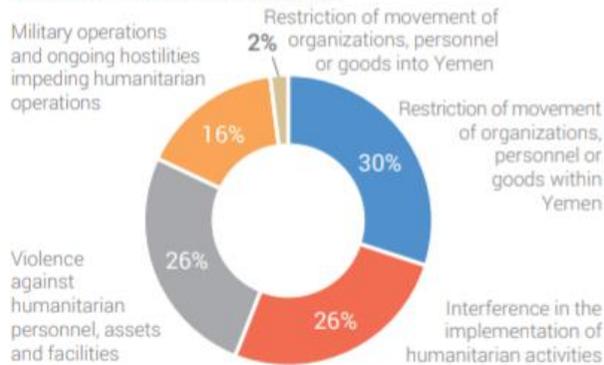
Armed conflict exacerbates access challenges in many parts of Yemen. More than 70 per cent of access incidents took place in the 27 most conflict-affected districts and included all five types of access impediments. The 37 incidents reported in Al Hudaydah were concentrated in areas with active frontlines, including At-Tuhayat, Ad Durahimi and Al Hawak districts. Nonetheless, the Rapid Response Mechanism (RRM) and regular programme response activities from Al Hudaydah and Aden Hubs helped tens of thousands of households in Al Hudaydah during the reporting period.

Rapid Response Teams (RRTs) are operating in 22 governorates in all districts reporting cholera cases. Active armed conflict has impacted response rate and coverage of RRTs in parts of Sa'ada and Al Hudaydah. For example, the rate of RRT response in Al Mansuriyah district (Al Hudaydah) was 30 per cent, in comparison to coverage rates of up to 85 per cent in other parts of the country. Despite these challenges, more than 1.2 million households have benefitted from RRT response in 2018.

Needs assessments are underway across Yemen to inform response planning. Cluster and multi-cluster assessment teams are working with local authorities to resolve delays and impediments to the data collection process.

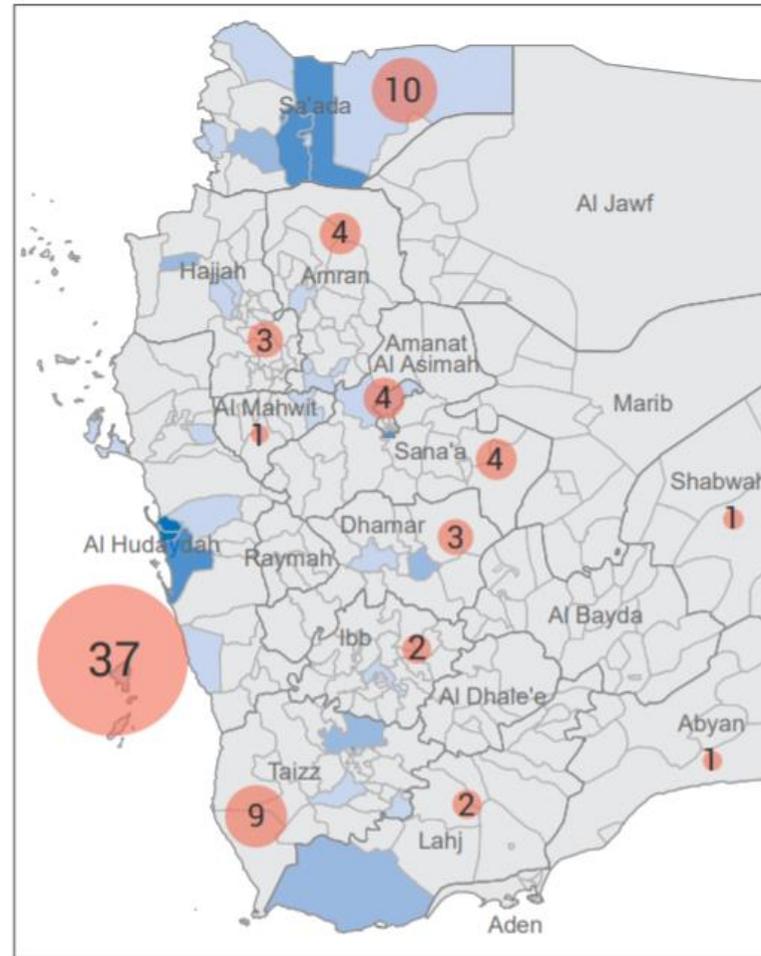
Humanitarian partners face persistent interference in their operations. The 21 cases reported in August-September were spread across eight governorates – only restrictions of humanitarian movement were observed in more locations during this period. Humanitarian partners may face greater interference in the weeks, amid depreciation of the Yemeni Rial and escalating armed conflict in many areas.

Overview of reported incidents



81 incidents reported over the period

>70% of access incidents were in 27 conflict-affected districts



Methodology: This snapshot is based on humanitarian partners' reports of access-related issues during a two-month period. Although the report indicates wider access dynamics encountered in many parts of Yemen, it only covers areas where organisations have been able to maintain a sustained humanitarian presence.

イエメンにおけるその他の活動、個人や物資の制限- 2%

750 WASH Rapid Response Teams in operation

Number of incidents by governorate Number of incidents by district



520,000+ cumulative number of people in need affected*, including

250,000+ children in need

*Estimated number of people affected by the interruption of services or delays in delivery of assistance.

Clusters affected

